

合併までの動き

宇部小野田地域市町村合併調査研究会、2市3町任意合併協議会

宇部市は、これまで小野田市、美祢市、阿知須町、楠町、山陽町、美東町、秋芳町との3市5町で宇部小野田地域市町村合併調査研究会を設置（平成13年7月9日）し、市町村合併の効果等の調査・研究を経て、平成14年12月27日には、住民の日常生活圏が一体である小野田市、阿知須町、楠町及び山陽町とともに2市3町の任意合併協議会を設置した。

しかしながら、新市の名称や事務所の位置など基本4項目等について各市町の考え方に相違があり、調整が困難なことから休会（平成15年1月20日）となり、今後は各市町が広域合併を視野に入れつつ、それぞれ同一歩調のとれるところと協議を進めていくことが全委員の意思として確認された。

宇部市・阿知須町・楠町合併研究会

宇部市、阿知須町及び楠町（以下「1市2町」という。）は、平成15年2月4日に1市2町の合併研究会を設置し、合併の基本スタンスや基本4項目の考え方について協議を重ねたが、阿知須町が「山口県央部合併協議会」への参加を表明されたため、協議継続が困難となった。

宇部市・楠町合併研究会

宇部市及び楠町は、中核都市づくりに向けた基本姿勢は不変であり、且つ、合併は避けて通ることのできない喫緊の課題であるとの認識から、住民説明会等を通じ、両市町の合併協議について住民へ理解を求めるとともに、両議会へ賛同を求め、平成15年2月24日、新たに宇部市及び楠町の1市1町による合併研究会を設置し、合併の基本スタンス等について協議を行い、法定合併協議会移行への意思を確認した。

宇部市・楠町合併協議会

両市町は、将来的には宇部小野田地域を視野に入れた広域合併を目指すとの共通理解を図り、中核都市づくりへの第一歩を踏み出すべく、先行合併を行うとの位置付けを申し合わせたうえで、平成15年3月3日、「宇部市・楠町合併協議会設置について」の議案を提出し、同日可決された。

この協議会では、合併の形態や合併の期日など41の合併協定項目について協議調整することとされ、協議開始から概ね1年の歳月を費やし、全13回の会議を開催し、新市建設計画を作成したほか、全ての項目について協議調整を終了した。

平成16年3月26日の合併協定書の調印を経て、平成16年4月5日の両市町臨時議会に合併関連議案を提出し、宇部市においては同日、楠町においては同月15日に可決した。

廃置分合申請～合併へ

両市町は平成16年4月16日、県知事に対し、廃置分合の申請を行い、6月定例県議会において、宇部市及び楠町の廃置分合に関する議案が上程・審議され、6月25日可決された。

これを受け、7月1日、県知事より廃置分合に係る「決定書」が交付され、その後、県知事が総務大臣に合併の届出を行い、7月22日付の官報において、宇部市と楠町の廃置分合に関する総務大臣の告示が行われた。